



あいなん逸品図鑑 その46



「紅まどonna」

生産者

かずや  
前田 和也さん (緑乙)



愛媛  
CATV  
動画



▲自慢の紅まどonnaを手に持つ前田和也さん

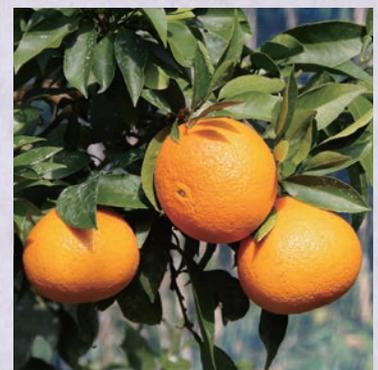
祖父の残したきれいな園地を守りたいという思いから、農業に興味を持ち愛媛県立農業大学校に進学した前田和也さん。2年間の勉強を終えて、7年前に就農しました。「祖父から『農業をするなら、失敗から学んで大きくなれ』と言われ、育てるのが難しいと聞いていた『紅まどonna』の栽培に挑戦した」と栽培のきっかけを話します。現在は広さ1反ほどの園地で、1.5トンの紅まどonnaを味楽共選場(えひめ南農業協同組合)に出荷しています。

「紅まどonna」は平成2年に愛媛県立果樹試験場(現:愛媛県農林水産研究所果樹研究センター)が育成した品種であり、JA全農えひめの登録商標で、正式な品種名は「愛媛果試第28号」と言います。

収穫するまでには、畑に堆肥を入れ除草をして土壌作りを行い、害虫予防や病気にならないように消毒を行います。実がなり始めた10月頃に、ビニールハウスを設置しハウス内を暖かくしています。11月中旬から12月中旬にかけて収穫していきます。

栽培する上で気を付けていることは、「実に雨が当たると、へたの部分から腐ってしまうので水が当たらないようにしています」と話す前田さん。雨対策として、ビニールハウスを早めに準備することや実に紙を被せるなどの作業をしています。

おいしいみかんを自分で作って食べることがやりがいにつながっていると話す前田さんは、「先月わが家にもマドンナが生まれました。娘に立派な背中を見せられるような農家になっていきたい」と今後の目標を話しました。



▲紅まどonnaは糖度が高く、果肉はゼリーのような食感です



投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

「コロナ禍を抜け」

▶撮影者: 齊藤 美樹さん(中原)

▶撮影日: 11月3日(水) ▶撮影場所: 緑

おだやかな文化の日。緑新鮮市横の田んぼでは群れ咲く秋桜が揺れていました。



愛南町  
ホーム  
ページ

写真募集中!

「晴天の松軒山公園」

▶撮影者: 松平 由紀さん(御荘平城)

▶撮影日: 11月7日(日) ▶撮影場所: 松軒山公園

この日はとても気持ちの良い天気だったので娘と松軒山公園に遊びに行きました。のんびり走るスロープカーを見ながら穏やかなひとときを過ごしました。